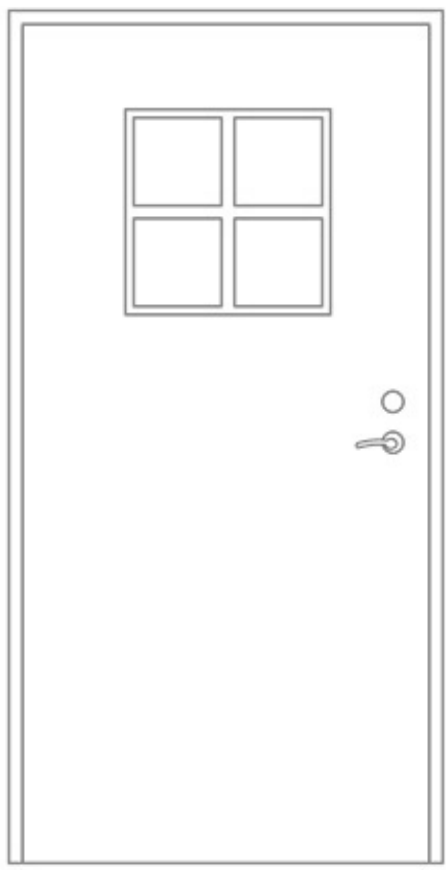




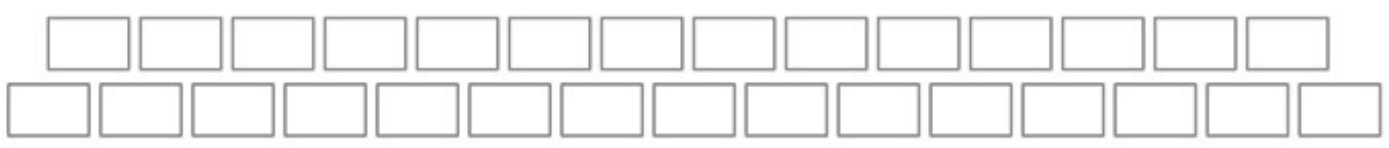
「FONTEの家」



knock  
knock

菜の花に誘われて歩いていくと、  
絵本の中から出てきたような一軒家が  
ひょっこり顔を出しました。

トントン。  
ちょっとおじゃまします。



黒×白のコントラストが美しい、三角屋根のおうち。  
日当たり抜群の場所には、タイル張りのプライベートテラスが、  
お気に入りの時間が流れる素敵なスペースが、あちこちに。  
とっておきのお部屋の中へ、さあどうぞ。







a. 日当たり抜群の場所にソファを置いて、ついウトウトしてしまいそう。b. お天気のいい日には、テラスとリビングで心地よさをひとりじめ。  
 c. 独立キッチンでも、扉がないだけでとても開放的になるのです。



たとえばキッチンやお風呂など、隠しがちな所をあえて見せるレイアウトにすれば、限られたスペースも驚くほど広々とした空間に。使い勝手と見た目の美しさは、ちょっとしたアイデアでリンクできるんです。

- a. 棚はすべてオープン。キッチンツールもかわいいオブジェに。b. お料理の途中、ちょっと窓の外を見てひとやすみ。  
c. 普段は帰宅が遅いご夫婦。休日は明るい部屋でのんびり過ごすことが多くなったとか。



Happy life begins whenever you wish.



ある雑誌の小さなコマ。外国の小さな家の写真に惹かれたのがきっかけ、というご夫婦の家づくり。  
土地探しからのスタートでした。  
お互いの趣味である家具や雑貨店巡りや映画鑑賞・・・すべてが家づくりのアイデアに。  
ひとつひとつあきらめることなく作り上げたからこそ、お二人の人格にぴったり合うお家になりました。



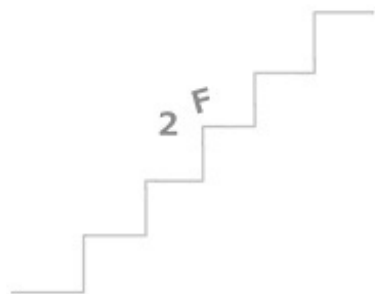
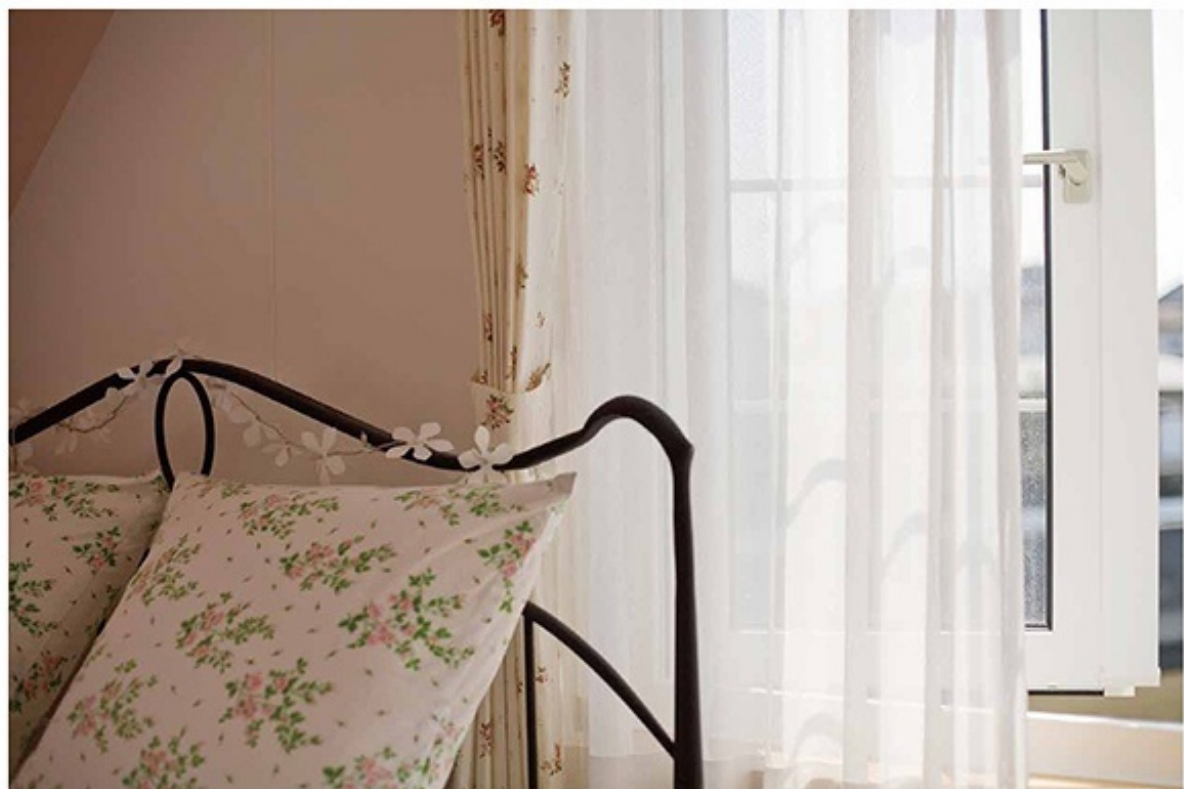


いちばん最後まで悩んだというバスルーム。  
一日の終わりにゆったり体を休めるところだからこそ、リビングや  
ベッドルームと同じくらい大切にしたい場所でもあります。  
ここは家族だけのとっておきのリラクスルームです。



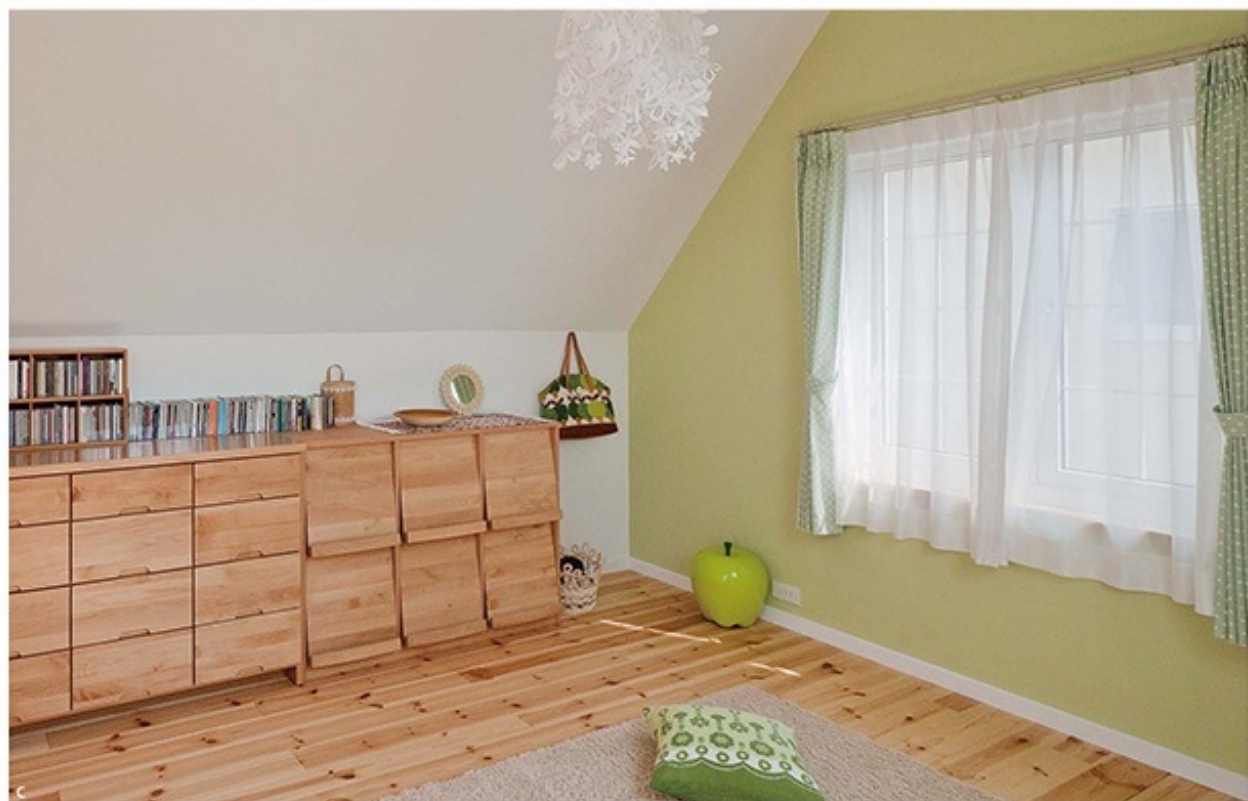


a. 大きな窓はインテリアとしてはもちろん、換気にも貢献。朝のお風呂も最高です。b. ゆとりのダブル洗面台。大きな窓があるので、いつも心地よい明るさ。c. 鏡を開けば実は収納スペースが。ちょっとした工夫がうれしい。



ベッドルームの一面をあたたかなピンクの壁に。天窗のある家に憧れていたというご夫婦。朝日に包まれて目覚めるのはもちろん、夜は星空を眺めながら眠りにつく、なんて贅沢も。





2階のもう一部屋はふたりだけのプライベートリビング。こちらは爽やかなグリーンをポイントに、作り付けのクローゼットなどをやめれば、お気に入りの家具も場所を気にせず自由に置くことができます。

a. ひとつひとつ大切に集めた雑貨たち。ご主人の趣味の音楽 CD もここに。b. バリアフリーなのはもちろん、閉め切ってしまうがちな扉をあえて外してスッキリと。c. ゲストルームとしてはもちろん、いつか家族が増えたときにも使える空間。



家をつくるということは、生き方をつくること。  
大切な人、愛すべき趣味、モノへの想いに正直になって、  
未来へのイメージを重ね、たった一つの住まいをつくる、かけがえのない時間です。  
しあわせな家づくりは、心に大切な何かを思い描いた瞬間から、はじまっているのかもしれない。

ご協力いただきましたTさんご夫婦。ありがとうございました。

Have a good life!



